

小中一貫教育全国サミット2007 in 京都

小学校・中学校の協働による 豊かな「学び」と「育ち」の実現

義務教育9年間にわたり、継続した創造的な研究と実践が各地で広がっております。子どもたちの豊かな「学び」と「育ち」を実現するため、文部科学省の「研究開発学校」や「構造改革特別区域による小中一貫教育の取組」をはじめ、全国で様々な実践が行なわれています。これらの実践の具体的な成果や課題を互いに共有し、より効果的に子どもたちの成長に結びつけるため、平成18年、品川区、京都市、奈良市、呉市の4自治体を中心に「小中一貫教育全国連絡協議会」を立上げ、同年7月28日には、全国から約1,600名の参加者のもと、「小中一貫教育全国サミット2006」を開催いたしました。

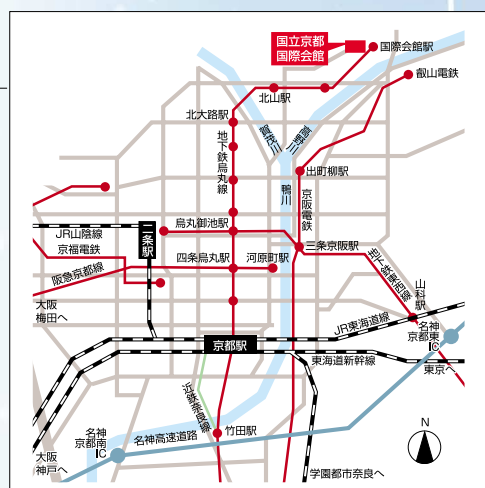
このたび、より多くの子どもたちの豊かな「学び」と「育ち」の実現を目指し、「小中一貫教育全国サミット2007in京都」を開催いたします。

なお、前日7月31日には、第9回を迎える全国最大規模の夏の研修会である「地域教育フォーラム・イン京都」が、京都市の主催で同会場にて開催されます。

日時
平成19年 **8月1日** 水 9:30～16:00
(受付開始 9:00)

会場
国立京都国際会館 京都市左京区宝ヶ池
〔京都市営地下鉄烏丸線「国際会館(KO1)」駅下車徒歩5分〕

主催 **小中一貫教育全国連絡協議会**
事務局：京都市教育委員会(代表幹事)
品川区教育委員会(代表幹事)
奈良市教育委員会
呉市教育委員会



小学校・中学校の協働による豊かな「学び」と「育ち」の実現

当日のプログラム

9:30

開会

来賓ごあいさつ

銭谷 眞美氏

文部科学省初等中等教育局長



主催者あいさつ

10:00

シンポジウム

「地方から教育改革のうねりを」

シンポジスト(予定)



山谷えり子氏

内閣総理大臣補佐官
教育再生会議担当
事務局長



川勝 平太氏

静岡文化芸術大学学長
国際日本文化研究セ
ンター客員教授
京都市社会教育委員



布村 幸彦氏

文部科学省大臣官房
審議官(初等中等教
育局担当)

コーディネータ



貝ノ瀬 滋氏

東京都三鷹市教育長



門川 大作

京都市教育長



小松 郁夫氏

国立教育政策研究所
教育政策・評価研究
部長

12:00

13:30

分科会

分科会名		提案団体
分科会番号 1	教育課程Ⅰ (各教科)	◆東小・東中(岐阜県大垣市) ◆花背小・花背中(京都市) 助言者 加治佐 哲也氏 兵庫教育大学大学院教授
分科会番号 2	教育課程Ⅱ (新教科)	◆源氏前小(東京都品川区) ◆御所南小・高倉小・京都御池中(京都市) 助言者 田中 耕治氏 京都大学大学院教授
分科会番号 3	学校運営Ⅰ	◆日野学園(東京都品川区) ◆呉中央学園【愛称】(広島県呉市) 助言者 加藤 明氏 京都ノートルダム女子大学心理学部長
分科会番号 4	学校運営Ⅱ (学校施設等)	◆品川区教育委員会(東京都品川区) ◆日向市教育委員会(宮崎県日向市) 助言者 小松 郁夫氏 国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長
分科会番号 5	学校運営Ⅲ (地域との連携)	◆にしみたか学園(東京都三鷹市) ◆西院小・西院中(京都市) 助言者 堀内 孜氏 京都教育大学教授
分科会番号 6	小中英語教育	◆豊里小・豊里中(宮城県登米市) ◆大宅小・大宅中(京都市) 助言者 直山 木綿子氏 京都市総合教育センター指導主事
分科会番号 7	交流活動	◆陶化小・東和小・山王小・陶化中(京都市) ◆長郷小・警固屋小・鍋小・警固屋中(広島県呉市) 助言者 北尾 倫彦氏 大阪教育大学名誉教授

15:30

分科会
報告

15:45

サミット
共同宣言
採択

16:00

終了

中央教育審議会答申(平成17年10月26日) ～新しい義務教育を創造する～

義務教育を中心とする学校種間の連携・接続の在り方に大きな課題があることがかねてから指摘されている。また、義務教育に関する意識調査では、学校の楽しさや教科の好き嫌いなどについて、従来から言われている中学校1年生時点の他に小学校5年生時点で変化が見られ、小学校の4～5年生段階で発達上の段差があることがうかがわれる。研究開発学校や構造改革特別区域などにおける小中一貫教育などの取組の成果を踏まえつつ、例えば、設置者の判断で9年制の義務教育学校を設置することの可能性やカリキュラム区分の弾力化など、学校種間の連携・接続を改善するための仕組みについて種々の観点に配慮しつつ十分に検討する必要がある。



呉市『小中一貫教育校「呉中央学園(愛称)」
開校記念式典』



品川区『品川区立小中一貫校日野学園
～オープンスペースにて～』



京都市『小中一貫校
(花背小・花背中) 開校』



奈良市『児童生徒会主催の対面式』

小中一貫教育全国サミット2006 共同宣言 ～義務教育学校の設置を目指して～

〔主旨〕

現在、全国の多くの自治体、学校が、子どもたちの学びと育ちの充実と義務教育における様々な課題の克服に向け、地域社会や保護者の理解と協力を得ながら小中一貫教育を柱とする新しい義務教育の創造に向けた取組みを進めています。平成17年10月の中央教育審議会答申においても、「義務教育を中心とする学校種間の連携・接続を改善するための仕組みについて十分に検討する必要がある」という趣旨の提言があり、様々な視点で具体的な取組みの成果が待たれるところです。

私たちは、本サミットで議論された小中一貫教育の意義や成果、課題等の多くの情報が大きなうねりとなって全国で共有されるとともに、教育における地方分権の一環として、それぞれの自治体や学校が国の大綱的基準を踏まえつつも、子どもの実態や地域性に合わせた新しい義務教育を創造していくことを目指して、次のことを宣言します。

〔宣言〕

宣言1 「義務教育学校」設置に向けた可能性を追究し、実効性ある法改正を目指します。

既存の仕組みにとらわれず、小・中学校の一層の連結を可能とする教育課程の弾力的な編成・実施や効率的な学校運営・組織など、多様な仕組みを提言します。

宣言2 小中一貫教育を通じて、教育における地方分権を拡充します。

義務教育の質を保証する新たな取組みとしての小中一貫教育を推進する過程で、それぞれの教育に対する考え方や実践結果を保護者、地域と共有し、自治体の責務として特色ある教育の実践・充実に努めます。

定 員 2,000名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

参 加 費 2,000円(資料代)

参 加 申 込 裏面「参加申込書」に所定の事項を記載し、7月20日(金)までに京都市教育委員会学校指導課へ郵送、FAXまたはE-mailにてお申込みください。

■E-mailで申込を希望される場合には、ホームページに掲載している申込用紙に必要事項を記入のうえお申込みください。

事前に指定口座【三菱東京UFJ銀行 京都支店 普通口座6791130 小中一貫教育全国サミット事務局 代表 藤村法子】に申込責任者名で振り込んでください。

振込みが確認できましたら、後日、申込責任者宛てに「参加証」を送付させていただきます。

保 育 室

会場の一室で保育室(対象:1歳以上小学校2年生まで)を開設します。
利用を希望される方は、7月20日(金)までにお電話で学校指導課へお申込みください。

要 約 筆 記 手 話 通 訳

全体会・分科会において要約筆記あるいは手話通訳を希望される方は、7月20日(金)までにお電話またはE-mailで学校指導課へお申込みください。

昼 食

国際会館内や周辺のレストラン等をご利用ください。なお、お弁当(1,000円)も国際会館レストランで販売されます。(お弁当の事前申込は行いません。)

お 問 合 せ 先

京都市教育委員会 学校指導課 企画推進担当
(TEL:075-222-3815 E-mail: gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp)

コピーしてお使いください

FAX送信先 **075-213-5229**

小中一貫教育全国サミット2007 in 京都

参加申込書

申込期限：平成19年7月20日(金)

1	自治体名 団体名等				分科会番号
	申 込 責 任 者		ふ り が な		
	住 所	〒			
	T E L		F A X		
	メー ル アドレス				

No.	自治体名・団体名等	氏 名	ふ り が な	分科会番号
2				
3				
4				
5				

大会参加費	2,000円 ×	名	合 計	円
-------	----------	---	-----	---

※「大会参加費」は、参加申込者全員分をまとめて指定口座【三菱東京UFJ銀行 京都支店 普通口座6791130

小中一貫教育全国サミット事務局 代表 藤村法子】に申込責任者名で振り込んでください。

振込みが確認できましたら、後日、申込責任者宛てに「参加証」等を送付させていただきます。

「参加証」が7月27日(金)まで届かない場合は電話にてご連絡ください。

■お問合せ先

京都市教育委員会 学校指導課企画推進担当

TEL：075-222-3815 FAX：075-213-5229 E-mail▶ gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp

ホームページ▶ <http://www.edu.city.kyoto.jp/kyoikukeikaku/>

お茶席

子どもたちがもてなすお茶を一服お楽しみください。

京都市立学校では、地域の方々のご協力により、茶道の指導を行っています。

時間：午前11時30分から午後2時まで

場所：メインホール前ロビー

協力：京都市地域女性連合会・京都市桂小学校

200名限定

サミット前日の7/31(火)に全国最大規模の夏の研修会
第9回「地域教育フォーラム・イン京都」

参加
無料

が同会場で開催されます。

学校・家庭・地域が双方向で連携し、高め合いながら進めてきた京都の教育改革。
その取組・実践を全国に発信し成果を問うとともに、明日への指針を検証します。

《お問い合わせ先》京都市教育委員会 地域教育専門主事室

(TEL:075-254-5007 FAX:075-254-5008)

ホームページ <http://www.edu.city.kyoto.jp/chikyousen/>

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
子どもと共に育む京都市民憲章を実践しましょう！

わたしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

(平成19年2月5日制定、3月13日憲章推進の市会決議)